

令和6年度

# 水戸市立五軒小学校 グランドデザイン

## 本校教育目標

### 夢に向かってチャレンジする五軒健児の育成 ～未来を拓く「個が育つ」学校づくりを目指して～

#### 目指す学校像

- 笑顔あふれる活気のある学校
- 安全で安心できる学校
- 家庭や地域から信頼される学校

#### 目指す児童像・五軒健児

- 夢に向かってチャレンジする
- 礼儀正しく他人を思いやる
- よく考えて工夫する
- 明るく元気にやりぬく
- みんなのために働く

#### 目指す教員の姿

- 人間性豊かで高い使命感をもつ
- 児童の多様性を理解し寄り添える
- 効果的な学びをデザインできる
- 実践的専門性を高めることができる
- 学校教育目標の具現化に資すること

#### 組織目標

### 「考え、学び続ける」場の工夫

#### グループ目標

低学年：一人一人の考えを引き出す発問の工夫  
 中学年：児童の目標が明確になる学習課題の工夫  
 高学年：学びの成果を生かした表現活動の工夫  
 特別支援：一人一人の実態を適切に把握し、個に応じた学びの工夫

#### 心のプロジェクト

##### ● 豊かな心を育む ●

- 自他のよさを認め合える共感的な人間関係の育成
  - ・ 道徳科を要とした道徳教育の充実
  - ・ 一人一人を大切に学級経営
- 社会の一員としての自覚を促す活動の充実
  - ・ 交わし合う「あいさつ」による自己存在感の高揚
  - ・ 特別活動の充実による自己有用感の高揚
- 郷土を愛し、豊かな感性を磨く取組
  - ・ 「偕楽園記」の暗唱
  - ・ 地域の教育力を生かした体験活動

#### 知力のプロジェクト

##### ● 確かな学力を育む ●

- 学びの基礎の充実
  - ・ 学習規律の確立
  - ・ AIドリルの活用等による家庭学習の習慣化
  - ・ モジュールタイムの充実
- 「分かった」「できた」が実感できる学びの展開
  - ・ ICT機器の効果的な活用
  - ・ アウトプットと振り返りの重視
- 一人一人の教育的ニーズに応じた学びの充実
  - ・ 全教職員の取組による特別支援教育の支援体制強化
  - ・ 自己決定の場の提供

#### 活力のプロジェクト

##### ● 健やかな体を育む ●

- 体育活動の充実
  - ・ 体育科授業における運動量の確保
  - ・ なかよしタイムの活用や外遊びの奨励による運動習慣の確立
- 自己管理能力を育てる取組
  - ・ 健康タイムおよび保健教育の充実
  - ・ 食に関する指導の充実
- 安全能力の育成
  - ・ 安全教育(生活・交通・災害)における実践的・体感的な活動の実施

#### 〈本県の教育目標〉

ひとりひとりの能力を開発し  
 豊かな人間性をつちかう  
 じょうぶな身体をつくり  
 たくましい心を養う  
 郷土を愛し  
 協力しあう心を育てる

— いばらき教育プラン —



あいさつ運動



読み聞かせ(スクールボランティア)



クリーン作戦



大成女子高校と合同演奏

#### 〈水戸市の教育目標〉

知性にとみ、心身ともに健全な風格を  
 そなえた人間(水戸人)の形成につとめる

#### 〈基本理念〉

水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

◎規律と協働を高める八策◎



創立150周年記念式典(全校合唱)



外遊び(全校鬼ごっこ)



五軒ハートフル(PTA活動)



朝ボランティア

#### 厚い信頼

##### 安心・安全の確保

- ・ 安心して学び合える集団づくり
- ・ 安全管理の徹底(月1回以上の校内施設安全点検)
- ・ オンライン相談窓口と心の健康観察の実施
- ・ SCやSSW、相談体制の充実
- ・ 組織活動の充実(校内管理体制の構築、外部組織との連携)
- ・ 食物アレルギーへの対応

##### 社会に開かれた教育課程

- ・ 地域や保護者との連携
- ・ 協働体制づくり: 共有と交流(ふあいぶたうんコミュニティ、五軒手をつなぐ親の会)
- ・ 学校運営協議会の開催
- ・ 教育活動の積極的な情報発信
- ・ スクールボランティアによる学習支援
- ・ 学校評価を生かした工夫・改善
- ・ 幼保小、第二中学校区小中、小高連携の推奨

##### 服務規律の確保

- ・ 計画的なコンプライアンス研修の実施
- ・ 情報の共有と風通しのよい職場環境づくり
- ・ 「自分事として考える」意識の強化

#### 教職員の資質・能力の向上

～教育方法のアップデート～

##### 校内研修テーマ

#### 考え、学び続ける児童の育成

～単元計画と振り返りの工夫を通して～

- ・ 「研修履歴の活用」とキャリアステージに即した研修機会の確保
- ・ 教員評価を生かした人材育成

#### 働き方改革:児童と向き合う時間の確保

～教職員が活気に満ち、笑顔で児童と接することができるために～

- ・ ワーク・ライフ・バランスの確立
- ・ 時間外勤務時間の把握
- ・ 業務改善の推進(効率化、教育DX)
- ・ メンタルヘルス